

## 2日 日曜

### ルカ



1:18 そこで、ザカリヤは御使いに言った。「私は何によってそれを知ることができましょうか。私ももう年寄りですし、妻も年をとっております。」

1:19 御使いは答えて言った。「私は神の御前に立つガブリエルです。あなたに話をし、この喜びのおとずれを伝えるように遣わされているのです。」

1:20 ですから、見なさい。これらのことが起こる日までは、あなたは、おしものが言えず話せなくなります。私のことばを信じなかったからです。私のことばは、その時が来れば実現します。」

1:21 人々はザカリヤを待っていたが、神殿であまり暇取るので不思議に思った。

1:22 やがて彼は出て来たが、人々に話をすることができなかった。それで、彼は神殿で幻を見たのだとわかった。ザカリヤは、彼らに合図を続けるだけで、おしのみままであった。

1:23 やがて、務めの期間が終わったので、彼は自分の家に帰った。

1:24 その後、妻エリサベツはみごもり、五か月の間引きこもって、こう言った。

1:25 「主は、人中で私の恥を取り除こうと心にかけて、今、私をこのようにしてくださいました。」

神様の常識を越えたみわざを納得するために、ザカリヤは「何によってそれを知ることが」できるのかと、証明を求めました。すなわち自分の判断に合うような説明があれば、受け入れるという態度です。それは神よりも自分の理性を優先させている姿です。

主はこのことでザカリヤへの祝福を取りやめるということはなさいませんでした。その不信仰を悟

らせるために話せなくさせました。

理性は大切ですが、神様よりも優先することはありません。自分の理性や判断よりも主を優る方として信頼しましょう。また従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

